

製品名: フィブロネクチン (12V17) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10973**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50
分子量	272kDa

抗原情報

遺伝子名	FN1
別名	CIG; Cold insoluble globulin; Fibronectin 1; FINC; FN; FN1; FNZ; GFND; GFND2; LETS; Migration stimulating factor; MSF;
遺伝子 ID	2335.0
SwissProt ID	P02751
免疫原	ヒトフィブロネクチンの組み換えタンパク質

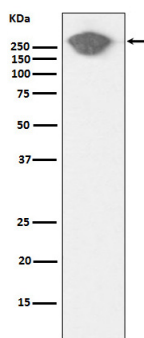
背景

フィブロネクチンは、細胞表面やコラーゲン、フィブリン、ヘパリン、DNA、アクチンなどの様々な化合物に結合します。フィブロネクチンは、細胞接着、細胞運動、オプソニン作用、創傷治癒、細胞形状の維持に関与しています。また、フィブロネクチン線維形成細胞媒介性マトリックス構築プロセスを介して骨芽細胞の圧縮に関与し、骨芽細胞の石灰化に不可欠です。フィブロネクチンは、細胞表面やコラーゲン、フィブリン、ヘパリン、DNA、アクチンなどの様々な化合物に結合します (PubMed:3024962, PubMed:3900070, PubMed:3593230, PubMed:7989369)。フィブロネクチンは、細胞接着、細胞運動、オプソニン作用、創傷治癒、細胞形状維持に関与しています (PubMed:3024962, PubMed:3900070, PubMed:3593230, PubMed:7989369)。フィブロネクチン線維形成細胞を介したマトリックス形成過程を介して骨芽細胞の圧縮に関与し、骨芽細胞の石灰化に不可欠です (類似性による)。骨芽細胞によるI型コラーゲンの沈着制御にも関与しています (類似性による)。

研究分野

心血管系

画像データ



ヒト血清細胞溶解物中のフィブロネクチン発現のウェスタンブロット分析。